

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	美術	
科目基礎情報							
科目番号	0006			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	高校美術（日本文教出版）						
担当教員	加藤 達彦,馬場 喜久						
到達目標							
美術の創造活動を通じ、美的体験を豊かにして表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、美術を愛好する感受性を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	完成度の高い実技作品を期限内に提出できる			実技作品を期限内に提出できる		実技作品の未提出	
評価項目2	作品の内容に独創的な創意工夫がある			作品の内容に創意工夫をしようとしている		作品の内容に創意工夫があまり見られない	
評価項目3	作品鑑賞に積極的に取り組み自分の意見を述べるができる			作品鑑賞にまじめに取り組む		作品鑑賞の態度に前向きさがない	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 1(1)							
教育方法等							
概要	美術作品の制作および鑑賞を通じ、美術へ関心を持ち、自身の表現を創意工夫して探究する力を身につける。創作活動と鑑賞を通して芸術に対する感受性を育む。						
授業の進め方・方法	制作および鑑賞にあたって、関心や意欲を引き出す教材として、教科書や参考作品を活用する。またそれらから画材や道具の基本的な使い方や応用の仕方を学ぶ。						
注意点	作品づくりのプロセスをよく理解し、教科書・参考作品をヒントにし、自己の表現に活かす心構えを持つこと。真摯な態度で授業に取り組むこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	美術学習について 明暗の表現		美術の分野【絵画 彫刻 デザイン 工芸 鑑賞】ガイダンスについて理解できる 枠を描くことができる		
		2週	明暗の表現		明暗の調子を観察することができる		
		3週	鉛筆デッサン -片手に物を持つ-		いろいろな角度から、観察して構成を考えることができる		
		4週	鉛筆デッサン -片手に物を持つ-		大まかに形をとらえて、輪郭をとっていくことができる		
		5週	鉛筆デッサン -片手に物を持つ-		立体感の表現と、色み、質感を描き分けて、細部に入り、完成させることができる		
		6週	デザイン-形と色の構成 -自然物（人工物）の構成		いろいろな角度から観察し、形や構造の特徴をとらえることができる		
		7週	デザイン-形と色の構成 -自然物（人工物）の構成		スケッチをもとに単純化や強調を考え、構想を練ることができる		
		8週	デザイン-形と色の構成 -自然物（人工物）の構成		構想をまとめ、形を整理して配色を考えることができる		
	4thQ	9週	デザイン-形と色の構成 -自然物（人工物）の構成		本紙にアイデアスケッチを写し、彩色することができる		
		10週	デザイン-形と色の構成 -自然物（人工物）の構成		彩色→作品を完成させることができる		
		11週	鉛筆による人物画		資料（顔写真のコピー） B4版の収集をすることができる		
		12週	鉛筆による人物画		資料、画用紙に枠目を書くことができる		
		13週	鉛筆による人物画		正確に位置関係を描くことができる		
		14週	鉛筆による人物画		明暗の調子を観察して、密度を上げていくことができる		
		15週	鉛筆による人物画		細部を描き、完成させることができる		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	20	80	0	100
基礎的能力	0	0	0	20	20	0	40
専門的能力	0	0	0	0	60	0	60
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0